



Fog Storage[®]

分散ファイルストレージサービス with Cisco UCS

スケールアウトNASをソフトウェアで実現

Cisco UCS Compatibility取得 リファレンスアーキテクチャーを用いて 簡単・迅速な導入を実現



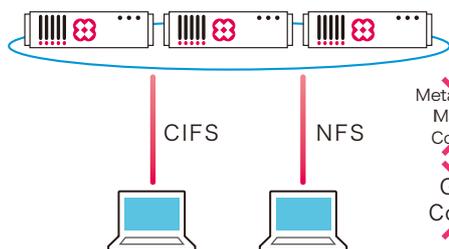
- Cisco UCSをエンタープライズストレージとして即時利用可能
- Cisco UCS ManagerとIzumoFS (FogStorageサービス)により、サーバー、ネットワーク、ストレージの統合管理を実現し、運用コストを大幅に圧縮
- UCSサービスプロファイルとIzumoFS (FogStorageサービス)リプレース機能を組み合わせることで、極めて容易にハードウェアの世代交代が可能。"データ移行作業"を運用から排除。広域Active-Active利用をサポートし、最小3台のsmallスタートからDR構成が可能
- 共有フォルダー単位にレプリケーション(3コピー)と秘密分散保存、保存形式を選択可能

■ UCS DirectorによるFogstorageサービス運用

- 構築時 IzumoFSのインストールを含む、構築の自動化
- 運用時 クラスターの拡張と縮退(ノード追加/削除)
ユーザー領域管理(共有フォルダー追加/削除)
障害ノードの修復(ノードリプレース)
モニタリング(容量/IOPS/スループット)
スナップショット
障害通知
ユーザー認証管理(AD連携)

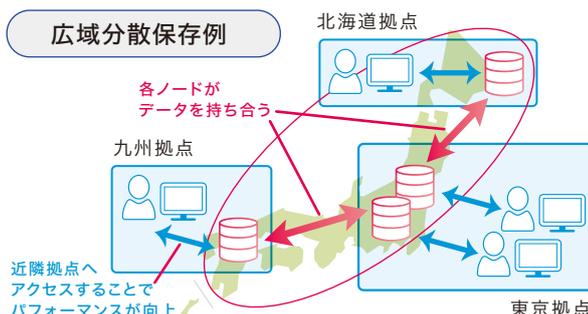


特別なGWを介さずプロトコル利用



~~Meta data Server~~
~~Master Node~~
~~Control Node~~
~~Gateway Connector~~

広域分散保存例



Why ユニアデックス?

- IzumoBASEおよびシスコシステムズ両社とのパートナーシップを持ち、ノウハウを活かした**最適構成を提案**
- サービスデスクが24時間サポート、**運用サービスと障害対応をワンストップで提供**
- 利用状況・傾向に基づき**継続的な改善提案を実施**

構成例

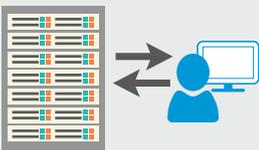
	Small-Start	Performance
Model	Cisco UCS C240M5SX x3	Cisco UCS C240M5SX x3
CPU	Intel Xeon Gold 6128 3.4GHz x1	Intel Xeon Gold 6128 3.4GHz x1
Memory	64GB	128GB
Media	600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 400GB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 1.2TB 10krpm SAS x8 (ブロックデータ:RAID5)	600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 800GB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 900GB 15krpm SAS x22(ブロックデータ:RAID5)
NW	10GbE x2	10GbE x2
実効容量※	7TB	16TB
	Mid-Range	Archive
Model	Cisco UCS C240M5SX x3	Cisco UCS C240M5SX x3
CPU	Intel Xeon Gold 6128 3.4GHz x1	Intel Xeon Gold 5122 3.6GHz x1
Memory	64GB	32GB
Media	600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 1.6TB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 1.8TB 10krpm SAS x22 (ブロックデータ:RAID5)	600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 1.6TB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 2TB 7.2krpm SAS x22 (ブロックデータ:RAID5)
NW	10GbE x2	10GbE x2
実効容量※	32TB	36TB

※3ノード構成で冗長化方式にレプリケーションを用いた場合

補足:SDSとは?

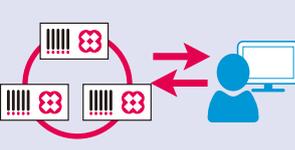
SDS (Software-Defined Storage) は、IAサーバー上で稼働するストレージ仮想化アプリケーションです。複数のIAサーバーを束ね、仮想的に一つのストレージプールを作成します。従来型のハードウェアベースストレージに比較して可用性や拡張性が高く、GoogleやAmazon等のクラウドサービスを支える技術として注目されたことをきっかけに、幅広い分野で応用が進んでいます。

●SDSを利用していない場合



- 筐体故障時にはサービス停止
- 容量の増強はサービス停止や拡張のための作業が発生
- 性能の増強はアーキテクチャー上難しい
- 運用には専門知識を持ったストレージ管理者が必要

●SDSを利用している場合



- 筐体故障時にも他のノードでサービス継続可能
- ノードを追加することで、容量と性能を容易にスケールアウト
- 一般的なLinux知識で運用可能なため、サーバー管理者がストレージまで一元管理可能



ユニアデックス株式会社

UNIADDEX, Ltd.

東京都江東区豊洲1-1-1 135-8560
TEL 03-5546-4900 (大代表)
URL <https://www.uniadex.co.jp/>

Headquarters: 1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan
Telephone: +81(3)5546-4900
URL: <https://www.uniadex.co.jp/>

Copyright© 2018 UNIADDEX, Ltd. All rights reserved.

関西支店 TEL06-7178-0211 中部支店 TEL052-204-6850 九州支店 TEL092-473-3003
北海道営業所 TEL011-558-1900 東北営業所 TEL022-261-9217 新潟営業所 TEL025-247-7600
首都圏営業所 TEL048-642-5950 静岡営業所 TEL054-272-4722 長野営業所 TEL026-238-7502
北陸営業所 TEL076-233-9850 中国営業所 TEL082-242-5088 四国営業所 TEL087-821-1511

※記載の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
※記載の内容は、予告なく変更することがあります。

010901671-0 71811 (500)